

Nikko Cedar Avenue 400th Anniversary Commemorative Exhibition

杉並木からはじまる、美しい日光の風景



絵の旅 杉並木から 日光へ

2025年 5月3日[土・祝]～6月29日[日]

開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日＝毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日が休館となります)
料金＝一般730(650)円、大学生510(460)円、高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体割引料金
主催＝公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料
※第3日曜日「家庭の日」(5月18日)は、大学生・専門学校生以下無料 ※6月15日[日]は「県民の日」により、どなたさまも入館無料
※日光市民は一般300円、大学生200円、高校生以下無料

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431
栃木県日光市山内2388-3
Tel 0288-50-1200
<https://www.khmoan.jp/>



Y.ITO《日光杉並木》当館蔵

Y.ITO

絵の旅・杉並木から日光へ



吉田 博《杉並木》1894-1899年頃

江戸時代、徳川家康をまつる東照宮が創建されたことで、日光へ向かう日光街道、例幣使街道、会津西街道、現在の日光市今市で合流する3つの街道が整備されました。各街道には、家康の家臣であった松平正綱により20年以上かけて杉が植樹、日光東照宮へ寄付されます。やがて、1952(昭和27)年に特別史跡、1956(昭和31)年に特別天然記念物へ指定されることになる三街道の総称「日光杉並木街道」の誕生です。

杉並木は当初の約5万本から、明治維新後の伐採、太平洋戦争期の供出、戦後の自動車による排気ガス問題や自然災害によって、現在は約1万2千本まで減っています。しかし日光市では、この杉並木を未来に残すため、日光東照宮、栃木県、日光杉並木保護財団と協力して、これまで様々な保護活動が続けてまいりました。

小杉放菴記念日光美術館では、1625(寛永2)年頃と考えられる植樹開始から、今年でおよそ400年を迎えることを記念し、「絵の旅・杉並木から日光へ」展を開催いたします。本展では、地域住民や観光客が日光杉並木街道について学ぶためのビジターセンターとしての役割を担っている日光市歴史民俗資料館の協力展示を起点に、当館のコレクションから日光が描かれた風景画の名品をご紹介します、あらためて日光の美しい風景を守っていくことの大切さを考える機会となることを願っています。



1. 田淵 保《今市図》1911年 2. 吉田あぐり《日光杉並木》 3. 三宅克己《日光》1896年
4. ヘレン・ハイド《日光》1908年 5. G.yokouchi《杉並木》 ※作品はすべて小杉放菴記念日光美術館蔵

【会期中のイベント】

学芸員によるギャラリー・トーク ※予約不要・要入館料

■日時：2025年5月6日(火・振替)、6月8日(日)

各時間＝午前11時より(1時間程度)

■参加方法：入館券をお求めのうえ、お時間までにお集まりください。
なお駐車料金の払い戻しは通常通り2時間までとなりますので、ご注意ください。

特別講座「日光杉並木街道の400年」

■講師：日光市教育委員会事務局文化財課職員

■期日：2025年6月22日(日)

※参加方法など、詳細は『広報にっこう』および当館ホームページにてお知らせいたします。

【次回予告】

画業50周年 瞬間の“煌めき” 中島 潔 令和の心を女性に描く
2025年7月12日(土)～9月21日(日)

【交通案内】

◎電車＝東武日光駅、JR日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」もしくは西参道行、清滝行、やしおの湯行、中禅寺温泉行、湯元温泉方面行バス5分。「神橋」停留所から徒歩3分。◎車＝日光宇都宮道路・日光インターから約2km。◎駐車場＝併設の市営神橋駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券をご提示いただくと、2時間まで払い戻しとなります。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3

Tel: 0288-50-1200 <https://www.khmoan.jp/>

